

## 《履修上の留意事項》《遠隔授業のみ実施》

《担当者名》○教授／會田 英紀      教授／千葉 逸朗      教授／古市 保志      教授／永易 裕樹  
 教授／石井 久淑      准教授／高橋 伸彦      講師／塚越 慎      講師／田村 誠  
 助教／尾立 光      非常勤講師／木下 憲治

### 【概 要】

高齢者歯科学は、歯科医学のなかで最も新しい学問の一つとして位置づけられており、臨床だけに留まらず、加齢学、社会学、疫学などの幅広い学問体系をもつ。本科目では各専門分野の教員が分担して講義を行い、これまでに履修した基礎系科目ならびに臨床系科目の学修内容をふまえて超高齢社会において歯科医師に必要とされる知識を学習する。

### 【学習目標】

- 老年歯科医学の基本的な学問体系を説明する。
- 老年歯科医学の社会的背景を説明する。
- 生体の加齢現象の基本について説明する。
- 高齢者に多い全身疾患について説明する。
- 高齢者歯科診療に応じた歯科診療形態の基本についての説明する。
- 高齢者における全身疾患と歯科疾患との関連について説明する。
- 在宅・施設での診療環境の基本と訪問歯科診療について説明する。
- 高齢者における栄養の重要性について説明する。
- 高齢者における口腔機能について説明する。
- 高齢者における口腔ケアと肺炎予防について説明する。
- 摂食嚥下障害の検査と診断について説明する。
- 摂食嚥下機能と歯科治療の関連について説明する。
- 高齢者における疾患の特徴とリハビリテーションについて説明する。
- 高齢者の軟組織、硬組織、神経疾患について説明する。
- ターミナルケアにおける歯科介入について説明する。
- 高齢者に多い歯、歯周組織の疾患について説明する。

### 【学習内容】

| 回 | テーマ                     | 授業内容および学習課題                                                                                                                                  | 担当者   |
|---|-------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
| 1 | 高齢者歯科の基本                | ・ 老年歯科の基本的事項を理解する。                                                                                                                           | 會田 英紀 |
| 2 | 高齢者歯科の社会的背景             | ・ 高齢者歯科の社会的背景を学習する。                                                                                                                          | 千葉 逸朗 |
| 3 | 加齢の科学                   | ・ 生体のシステム（神経、運動、感覚、循環、呼吸、消化、排泄、内分泌及び生殖系）の加齢現象の基本を理解する。                                                                                       | 石井 久淑 |
| 4 | 高齢者に多い全身疾患              | ・ 高齢者でよくみられる全身疾患を理解する。<br>1）循環器疾患（高血圧症、虚血性心疾患など）<br>2）脳血管疾患患者（脳梗塞、予防薬など）<br>3）呼吸器疾患（COPD、肺炎など）<br>4）消化器疾患（慢性肝炎、肝硬変など）<br>5）代謝性疾患（糖尿病、骨粗鬆症など） | 高橋 伸彦 |
| 5 | 高齢者に多い全身疾患              | ・ 高齢者でよくみられる全身疾患を理解する。<br>6）腎疾患（腎機能、腎不全、血液透析治療）<br>7）精神神経疾患（うつ病、認知症）<br>8）血液・免疫疾患（貧血、特発性血小板減少性紫斑病、白血病、関節リウマチなど）<br>9）その他（視覚・聴覚障害など）          | 高橋 伸彦 |
| 6 | 高齢者に応じた歯科診療<br>全身疾患との関連 | ・ 高齢者歯科診療に応じた歯科診療形態の基本を理解する。<br>・ 高齢者における全身疾患と歯科疾患との関連を理解する。                                                                                 | 永易 裕樹 |
| 7 | 在宅・施設での診療環境             | 在宅・施設での診療環境の基本を理解する。<br>訪問診療について理解する。                                                                                                        | 尾立 光  |

| 回  | テーマ                                          | 授業内容および学習課題                                                                                   | 担当者   |
|----|----------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------|-------|
|    | 訪問診療                                         |                                                                                               |       |
| 8  | 高齢者と栄養                                       | 高齢者における栄養の重要性を理解する。                                                                           | 塚越 慎  |
| 9  | 高齢者と口腔機能                                     | ・ 高齢者における口腔機能を理解する。                                                                           | 會田 英紀 |
| 10 | 口腔ケアと肺炎予防                                    | 高齢者における口腔ケアと肺炎予防について理解する。                                                                     | 田村 誠  |
| 11 | 摂食嚥下障害                                       | 摂食嚥下障害の検査と診断・評価について理解する。                                                                      | 木下 憲治 |
| 12 | 摂食嚥下障害                                       | ・ 摂食嚥下機能と歯科治療の関連について理解する。                                                                     | 會田 英紀 |
| 13 | 疾患による特徴とリハビリテーション<br>歯の欠損への対応<br>終末期における歯科診療 | ・ 高齢者における疾患の特徴とリハビリテーションについて理解する。<br>・ 高齢者の軟組織、硬組織、神経疾患について理解する。<br>・ ターミナルケアにおける歯科介入について理解する | 永易 裕樹 |
| 14 | 高齢者に多い口腔疾患                                   | ・ 高齢者に多い歯、歯髄、根尖歯周組織、辺縁歯周組織の疾患について理解する。<br>E5-1)- 、E5-1)- 、E5-1)-                              | 古市 保志 |

【評価方法】  
試験（100%）

【備考】

教科書：老年歯科医学 医歯薬出版 森戸 光彦、山根 源之、桜井 薫、羽村 章、下山 和弘、柿木 保明 編  
2015年 ￥10,000 + 税

参考書：新版歯学生のための摂食嚥下リハビリテーション学 医歯薬出版 向井美恵、山田好秋、井上 誠、弘中祥司 編著  
2019年 ￥8,000 + 税  
摂食嚥下リハビリテーション 第3版 医歯薬出版 才藤栄一、植田耕一郎 監修 2016年 ￥7,600 + 税  
よくわかる高齢者歯科学 永末書店 佐藤裕二、植田耕一郎、菊谷 武 編 2018年 ￥8,500 + 税

【学習の準備】

予習は、今回の授業範囲の老年歯科医学の当該部分を読んで、疑問点を整理しておく（50分）。  
復習は、教科書、プリントなどを活用し、理解を深める（50分）。

【ディプロマ・ポリシー(学位授与方針)との関連】

DP1.人々のライフステージに応じた疾患の予防、診断および治療を実践するために基本的な医学、歯科医学、福祉の知識および歯科保健と歯科医療の技術を修得するために、老年歯科医学の基礎と臨床を学修する（専門的实践能力）。  
DP4.多職種（保健・医療・福祉）と連携・協力しながら歯科医師の専門性を発揮し、患者中心の安全な医療を実践するために、超高齢社会において求められる社会的対応と訪問歯科診療を含む歯科的対応について学修する（多職種が連携するチーム医療）。

【実務経験】

高橋 伸彦（医師）、會田 英紀（歯科医師）、千葉 逸朗（歯科医師）、古市 保志（歯科医師）、永易 裕樹（歯科医師）、石井 久淑（歯科医師）、塚越 慎（歯科医師）、田村 誠（歯科医師）、尾立 光（歯科医師）、木下 憲治（歯科医師）

【実務経験を活かした教育内容】

高齢者に多い全身疾患についての講義は十分な実務経験のある医師が担当している。また、他の学習内容についても、高齢者・有病者の歯科治療、訪問歯科診療、摂食嚥下リハビリテーションに関して十分な実務経験のある歯科医師が担当している。